

第 45 回 エクソンモービル児童文化賞

今森 光彦 (いまもり みつひこ)

写真家

<http://www.imamori-world.jp/>

贈賞理由

今森光彦氏は、写真家として国内外の昆虫の生態を中心に作品を発表し続け、ユニークな写真集『昆虫記』とその姉妹編『世界昆虫記』は国内外で高い評価を得た。故郷・滋賀県の琵琶湖を望む仰木地区を舞台にした『里山物語』では、自然に人の手が加わり、人と自然がおだやかに調和した生命を育むすべての土壌を「里山」と位置づけ注目を浴びる。この写真集やエッセイ集『里山の少年』などにより、「里山」が、人と自然が関わる生態系を表現する言葉として現代に甦った。『ダンゴムシ』、『おじいちゃんは水のにおいがした』など多くの写真絵本や、NHKスペシャルの里山シリーズなど旺盛な活動により、未来を生きる子どもたちに自然環境への興味や関心を培った功績は大きい。

(児童文化賞 選考委員会)

略歴

1954年滋賀県生まれ。近畿大学理工学部土木工学科卒業。1980年より作家活動にはいる。写真は独学。人と自然の共存を「里山」という空間概念で追いつづける。身近な自然をみつめる一方、学生のと時からアマゾン、アフリカ、東南アジア、オーストラリアなどに渡航を重ね、熱帯雨林から砂漠まで世界の自然を取材する。写真集に『里山物語』、『湖辺』、『世界昆虫記』、『今森光彦 昆虫記』。写真文集に『萌木の国』、『里山のことば』、『里山の少年』。写真絵本に『神様の森 伊勢』、『おじいちゃんは水のにおいがした』、『わたしの庭』、『神様の階段』など数多くの著作がある。近年は、切り紙作家として個展や出版物にも力をいれている。また、雑木林再生プロジェクトや「里山みらいじゅく」などを立ち上げ、地域に根ざした活動もおこなう。日本写真家協会会員、成安造形大学客員教授。

主な受賞歴

1994 年	第 10 回 東川賞 新人作家賞
1994 年	第 48 回 毎日出版文化賞
1995 年	第 42 回 産経児童出版文化賞大賞
1995 年	第 20 回 木村伊兵衛写真賞
2003 年	第 28 回 滋賀県文化賞
2007 年	第 56 回 小学館児童出版文化賞
2009 年	第 28 回 土門拳賞